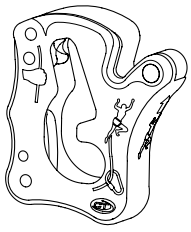
PDF版
(2014-12-29)

CLICK UP
クライミングテクノロジー
クリックアップキット

3年保証
MADE IN ITALY
EN15151-2:2012 type2
登山用品／ビレイ・ブレーキデバイス



クリックアップキット取扱説明書

製造元:イタリア・アルデザイン社
（商標名:クライミング・テクノロジー）
輸入販売元:イワタニ・プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話番号 03-3555-5605
イタリア製
商品名:クリックアップキット（クリックアップ本体、ロッキングカラビナのセット）
素材:クリックアップ本体:アルミ合金製（一部プラスチック部品を使用）／重量:115g、ロッキングカラビナ:アルミ合金製

はじめにお読み下さい

クライミングは一般的に他のスポーツに比べ、リスクの高いスポーツです。クライミング用品を使用してもクライミングには潜在的な危険が伴います。ご自分自身の安全のため、クライミングを行うかどうかの判断はご自分で下してください。本製品を使用する前には必ず本取扱説明書をよく読み、本製品の特徴や注意事項をよく理解して使用してください。実際の使用の前には本製品の使用方法に十分に慣れることが必要です。また、クライミングに際しては安全確保に対する幅広い知識が必要であることを認識し、考えられうる事故に備えなければいけないことを考慮してください。

この取扱説明書はご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる所に保管してください。

⚠ **警告** 本説明書の正しい取扱方法に従わない場合、死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。

表示内容

⚠ **危険**:人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。
⚠ **警告**:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**:人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。
⊘ **禁止**:やってはいけないことを表しています。

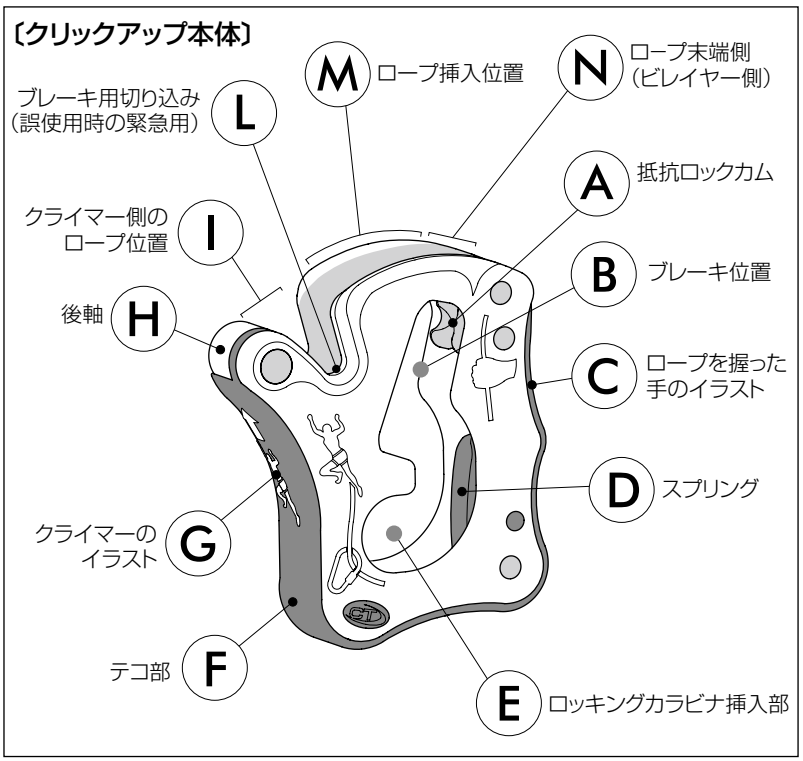
本製品（クリックアップ）ご使用に際しての注意事項＜必ずお読みください＞

この注意書は、クリックアップをスポート（スポーツ）クライミングで正しく使用するための注意事項が書かれています。誤った使用方法、不適切な使用方法は、死亡または重傷を負う恐れがあります。この器具を使用する人は、使用方法を習熟しておく必要があります。使用者は使用方法（器具の使用方法および安全確保に関しての正しい措置）についての充分な習得が必要です。本取扱説明書に記載のある正しい方法でのみ使用してください。他の方法による誤った使用方法は禁止いたします。使用者はクライミング、岩登り等での実際の使用における生命および身体に対するリスクをあらかじめ認識してください。正しい使用方法を習得しない、またはリスクを認識しない人、クライミング全般に対する知識を有しない人や安全確保を行えない人は、本製品を使用してはいけません。製造元、販売店、輸入代理店は、誤った使用方法や不適切な使用方法に起因するすべての事故に対し一切の責任を負いません。

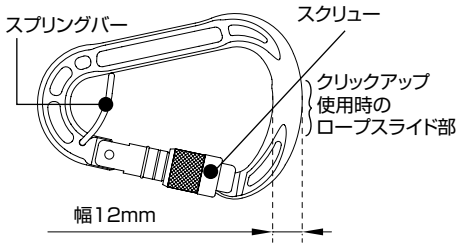
本取扱説明書は、クライミング用品の正しい使用方法などについて説明を行うものです。
クライミングに関する専門的用語が用いられています。語句の内容が理解できない場合は本製品を使用せず、まずクライミング講習等を受講してください。またクライミングには安全を確保するための正しいロープワークが必要です。これらが行えない場合は危険ですのでクライミングを行わないでください。また、クライミングは、クライミングについての知識や技能、およびその安全確保について十分な知識を持ったクライミングパートナーと一緒に行ってください。

⚠ **注意** 説明書は見やすさを優先しており、素手で表記してあります。実際の使用に際してはビレイヤーはクライミングのビレイ用手袋等を使用し、手を保護してください。

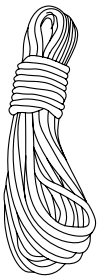
図1　各部の名称



〔ロッキングカラビナ〕～HMS（洋ナシ）型



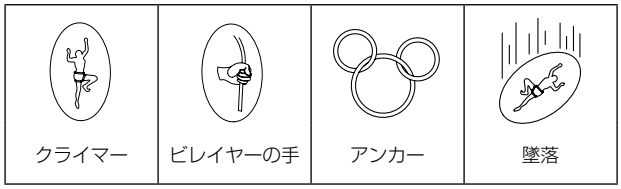
クリックアップ本体は付属のロッキングカラビナ「商品名：コンセプト SGL HC（スクリューゲートロック・ハードコート）」を必ずご使用ください。このカラビナは熱鍛造製法で作られ、表面にハードアノダイズド加工が施されたアルミニウム合金製です。スプリング機構を持っており、ビレイヤー側のビレイループ側に取り付けるとカラビナの回転を防ぐことができます。



（別売品）

岩登り用ロープとして日本で認定を受けたダイナミックロープをご利用ください。EN892①UIAA準拠の8.9～10.5mmシングルロープと組み合わせてお使いください。

本取扱説明書の表示記号



⚠ **警告**　登山・クライミングの前または最中には、アルコール、向精神薬、その他知覚、認知、バランス感覚、集中力に悪影響を与える食品や薬品等の摂取を行わないでください。

使用方法・手順

1.各部の名称（図1） Ⓐ-抵抗ロックカム　Ⓑ-ブレーキ位置　Ⓒ-ロープを握った手のイラスト　Ⓓ-スプリング　Ⓔ-ロックコネクター（カラビナ）挿入部　Ⓕ-テコ部　Ⓖ-クライマーのイラスト　Ⓗ-後軸　Ⓘ-クライマー側のロープ位置　Ⓛ-ブレーキ用切り込み　Ⓜ-ロープ挿入位置　Ⓝ-ロープ末端側（ビレイヤー側）

使用前点検：実際に使用する前に、すべてのクライミング用器具が最善の状態であることを確認してください。磨耗がひどかったり、ひび割れが見られたり、亀裂が入っていたり、ささくれているような場合は使用を中止してください。特にブレーキ部Ⓑと抵抗ロックカムⒶを入念に点検してください。そしてクリックアップ本体のスプリングⒹを指で押してバネが利いているか、スムーズな反発力があるかを確かめてください。使用するHMSカラビナ（洋梨型カラビナ）のロープがスライドする部分が磨り減っていないか確認してください。

一般的な注意事項：この器具はクライミング用のロープを使用し、リードとセコンドの二名で用いるビレイ器具です。主にインドアクライミングの用途に向けて設計されています。なお、UIAA準拠のボルトアンカー等を用いた良く管理され、頑丈なアンカーポイントを持つ（20kNに耐えられるもの）スポーツルートの用途に使用できます。アルパインクライミング、アドベンチャーの用途には使用しないでください。本製品の特徴は、クライマーが墜落すると器具がロープの流れをストップさせるセミロック機構が働きます。したがって弱いプロテクションやアンカーではこの急な制動に耐えられずプロテクションやアンカーが脱落、破損する恐れがあります。

適合性について：この器具とあわせて使用するクライミング用品について、正しく機能させられるかどうか検証を行ってください。

ロープ：EN892①UIAA適合のシングルのダイナミックロープ＝直径8.9～10.5mmを使用してください。ロープの太さや種類によりすべりがあり、ビレイに影響を与えます。また真新しいもの、表面加工の種類や程度、ロープの防水加工によりすべる程度は変わります。

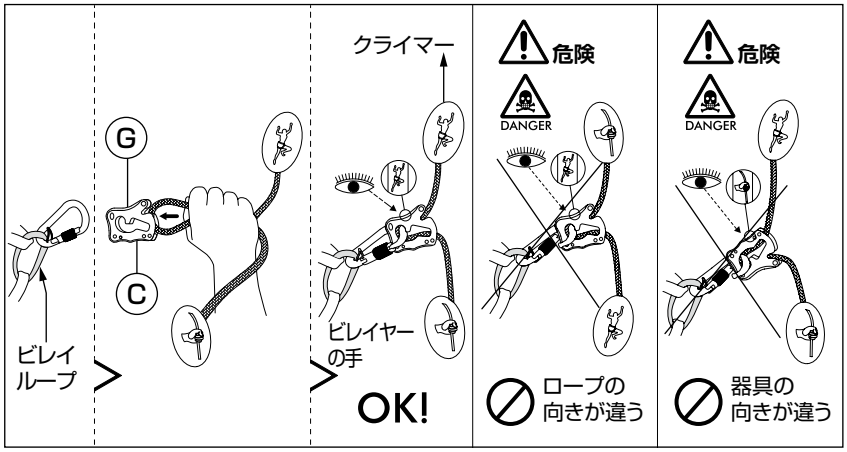
ブレーキのためのロッキングカラビナ：付属のロッキングカラビナ「コンセプトSGL HC（ハードコート）」は熱鍛造によって成型され、表面にハードアノダイズド（陽極処理）加工が施されたアルミ合金製です。磨耗を減らす表面加工、使用中にカラビナが反転することを防ぐためのスプリングを装備しています。例外的に他のカラビナを使用せ

ざるを得ないときは、UIAA認定のHMS(洋ナシ型)タイプのロッキングカラビナで、なおかつロープスライド部の幅が12mm以上のものを利用してください。コンセプトSGL HCカラビナ以外での動作保証は行っておりません。使用者は、器具の使用方法を正しく理解し、ロープは本製品の大きく開いた側にセットされることを確認してください。

> ⚠ **危険** 本製品をクラシックルート、アルパインクライミング等でのリムーバブルプロテクションやナチュラルプロテクションを使ってのクライミングには使用しないでください。本製品の特徴であるクライマー墜落時に働くセミロック機構により、弱いアンカー、プロテクションが脱落してしまう恐れがあります。

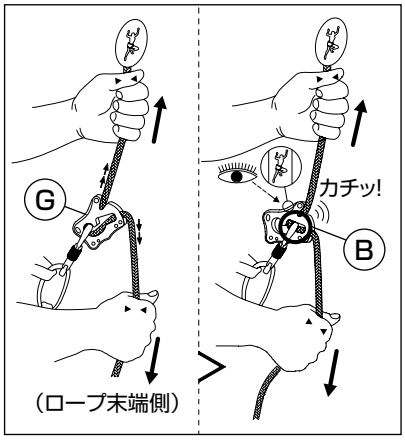
2.装着(図2) 付属のコンセプトSGL HCカラビナをハーネスのビレイループに取り付けてください。さらにカラビナのスプリングバーを開け、ビレイループを入れ込んでください。こうすることで使用中にカラビナが回転することが防げます。**図2**のように器具にロープをセットします。ロッキングカラビナを、**図1のⒺ**位置＝ロッキングカラビナ挿入部で、器具の中に入れられたロープに掛けるようにしてセットします。カラビナは安全のため、スクリューロックを締め、ゲートが開かないようにします。この時クリックアップ本体の**図1のⒼ**のクライマーのイラストがビレイヤーの正面に見えており、そこから出たロープがクライマー側につながっていれば正しい装着ができていることになります。

図2　装着



3.機能テスト(図3) 本製品(クリックアップ)を実際に使用する前に、正しい装着が行えていること、並びに正しく機能することを確認してください。実際にクライマーが登高を始める前に、ビレイヤーは、クリックアップをセットし、自身のハーネスに装着したら、片方の手で末端側のロープを下方向にしっかりと握ります。そしてビレイヤーはもう片方の手でクライマー側のロープを勢いよく引き、ここでロープがセミロックされ、カラビナがⒷの位置に位置に動き、「カチッ」という音がなることを確認してください。**図1-Ⓖ**のクライマーのイラストは、ビレイヤーが正面から見える位置にあることを確認してください。

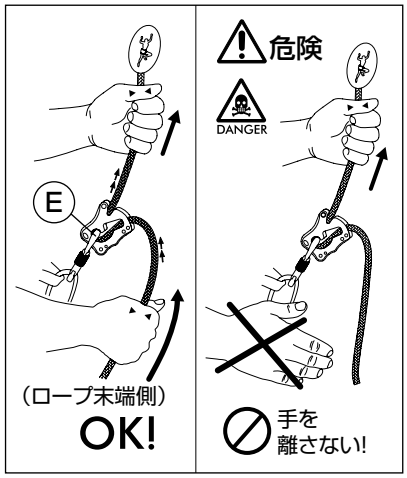
図3　機能テスト



> ⚠ **警告** 本製品(クリックアップ)使用中には、本体の内部には指を入れないでください。指を入れるとクライマーの墜落等によりロープ位置が動き、指を骨折、または大きなけがを負う恐れがあります。

4.リードクライマーをビレイする(図4) ビレイヤーははじめに自分自身の安全が確保されていることを確認してください。場所に応じ、ビレイヤーはセルフビレイを取ってください。次にリードクライマーの安全を確認します。次にロープが完全に解けた状態であること、絡みを引き起こすねじれがないことを確認します。さらにビレイヤー側ロープの末端は、万が一の場合に備え、結び目を作っておき、ビレイ器具からロープが抜けないようにしておきます。ビレイヤーは足元の安定した場所を確認し、転んだりものや岩にぶつからないように注意を払い、リードクライマーのクライミングを阻害したりクライマーに無理な力がかからないようにしてください。本製品(クリックアップ)を**図2**のように様にセットします。クライマー側のロープは確実にハーネスに結ばれていることを確認してください。ビレイヤーは片方の手でクライマーに近い側のロープを握ります。もう片方の手は、本製品(クリックアップ)を通って出たロープの下側(末端側)を握ります。この時、ロッキングカラビナはロープを繰り出せる位置(セミロックがかかっていない位置)である**図1-Ⓔ**の位置にあるようにしてください。

図4　リードクライマーをビレイする



⚠ **警告** ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

5.ロープをたぐる(図5) 登って行くクライマーの動きによって出た余分なロープ(例えばロープをクイックドローへクリップした直後など)は素早くたぐってください。ビレイヤーが握っているクライマー側の本製品(クリックアップ)に引き込むようにして引いてください。ビレイヤーの反対側の手は末端側のロープを**図5**の様にして引きます。この時、ロッキングカラビナはロープを繰り出せる位置(セミロックがかかっていない位置)である**図1-Ⓔ**の位置にあるようにしてください。

⚠ **警告** ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

図5 ロープをたぐる

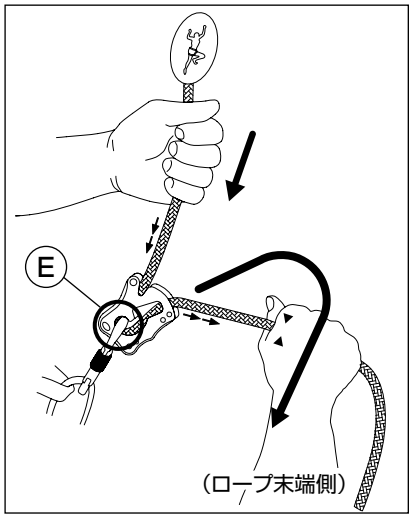
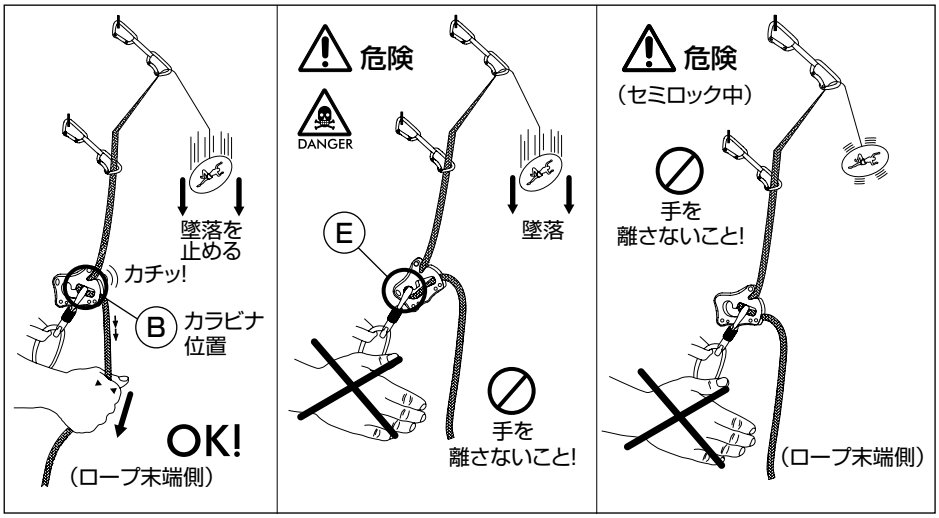


図6 フォール(墜落)を止める



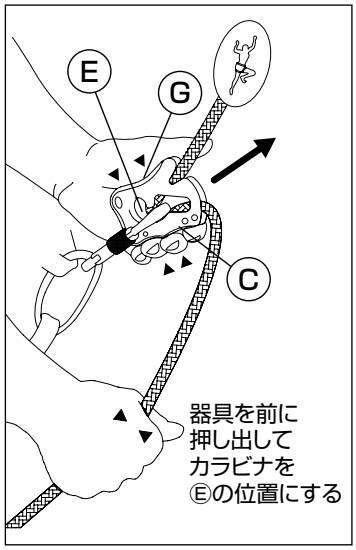
6.フォール(墜落)を止める(図6) 末端側ロープをしっかりと握り、下方向に引きます。

⚠ **注意** 本製品(クリックアップ)を手で持ってはいけません。必ずロープを握ってください。

7.セミロックを解除(図7) 墜落を止めた後や、休憩のためにセミロックさせた後にクライマーの安全を確認してロープをリリースする場合、ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。そして反対側の手で本製品(クリックアップ)の**Ⓒ**、**Ⓖ**の部分をしっかりと握り、前に押し出すようにすればセミロック状態になっているロッキングカラビナが**Ⓔ**の位置に戻り、セミロックが解除され、ロープをリリースできます。もしこの時、ロープのテンションがかかっていたり、重くて解除できなかったりする場合は、ビレイヤーが前に動いてテンションを緩めるか、クライマーをロワーダウンさせることでロープに余裕を与えます。

⚠ **警告** ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

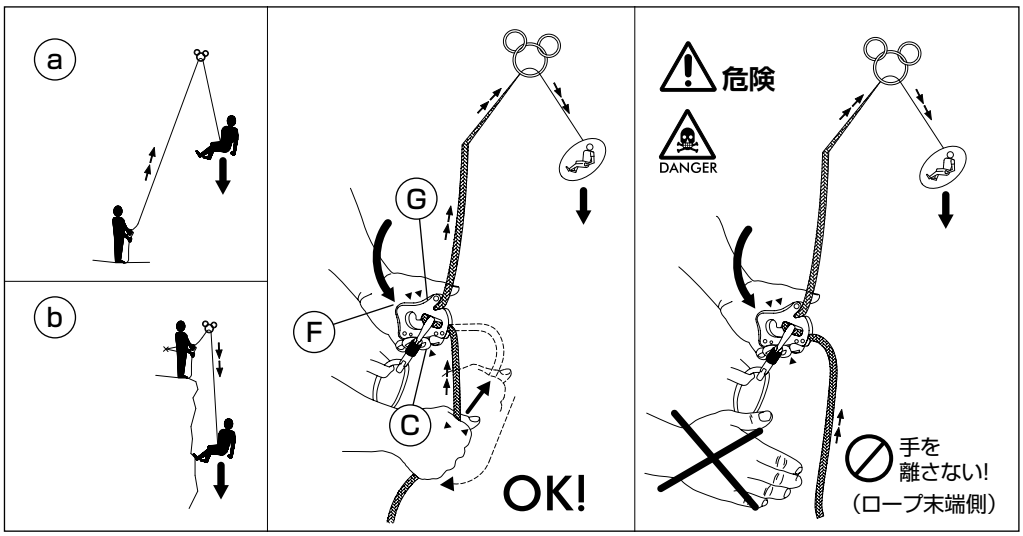
図7 セミロックを解除する



8.ⓐ クライマーをロワーダウンさせる(図8) ロワーダウンの際は、ロープ位置が**図6**の**OK！**状態でセミロックがかかっていることを確認してください。ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。もう片方の手で本製品(クリックアップ)の**図1-Ⓒ**、**Ⓖ**の部分を指でしっかりと保持し、手のひらを利用して本製品(クリックアップ)の**図1-Ⓕ**の部分をテコの原理を利用して押し下げるようにすればロープを少しずつ繰り出すことができます。このようにしてロープを出したい時には手のひらで**図1-Ⓕ**を押し下げ、ロープを出したくない時には**図1-Ⓕ**を押さえていた手を放してセミロックを利かせることができます。この動作を繰り返すことで

少しずつロープを繰り出すことができ(ロープの送りだしが行え)、安全にクライマーを下に下ろすことができます。下ろしたいクライマーが地面に着き、安全が確保されたら、下ろされたクライマー側にロープを送りだし、テンションを緩めます。そして本製品(クリックアップ)を**図7**の様に操作し、ロックを解除します。

図8　クライマーをロワーダウンさせる



> **⚠ 警告**　ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

8.ⓑ　上方からクライマーを下ろす(図8)　まず下りるクライマーを確保するビレイヤーは、ビレイヤー自身がセルフビレイを取って安全を確保し、万が一下に引っ張られることがあっても影響のない場所を確保してください。また、器具がロープとロッキングカラビナにより、セミロックされた状態であることを確認してください。ロープが完全に解けた状態であること、絡みを引き起こすねじれがないことを確認します。さらにビレイヤー側ロープの末端は、万が一の場合に備え、結び目を作っておき、ビレイ器具からロープが抜けないようにしておきます。**図8のOK！の図**のように本製品(クリックアップ)を通し、ロープが少しずつ繰り出されることでクライミングパートナーを下に下ろすことができます。

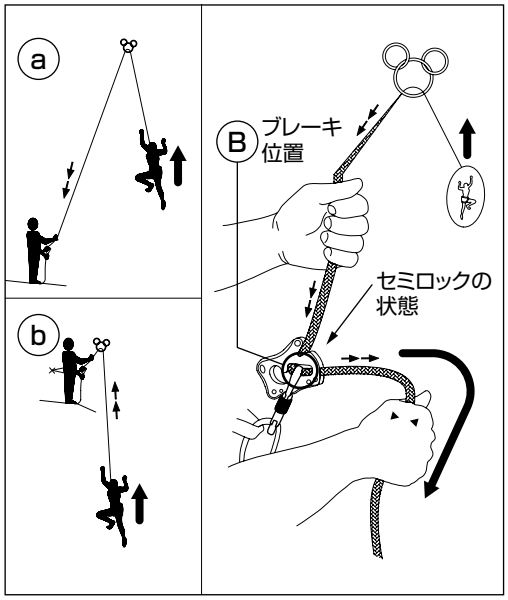
> **⚠ 警告**　ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

> **⚠ 注意**　**手順7、8ⓐ、8ⓑ**において何らかの原因によりロープを繰り出すことができなくなった場合、本製品(クリックアップ)を左右に動かし再度、**手順7**または**8**の動作を繰り返してください。ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

9.ⓐ トップロープの状況でクライマーをビレイする(図9)　**図2**のように本製品(クリックアップ本体)にロープとロッキングカラビナをセットします。ビレイされるクライマーに正しくロープがセットされていることを確認してください。ビレイに際して、器具は**図9**右のセミロック状態のイラストのようにセミロックされた状態で使用してください。ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。クライマーが登り、ロープがゆるんで来るタイミングでビレイヤーは末端側のロープを引き、反対側の手で器具にロープを送り込むようにして操作します。
このモードではクライマーが吊り下がった状態になったとき、またフォール(墜落)した際に本製品(クリックアップ)がセミロック状態になっているので、クライマーの安全が確保されます。

> **⚠ 警告**　ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

図9　クライマーをビレイする



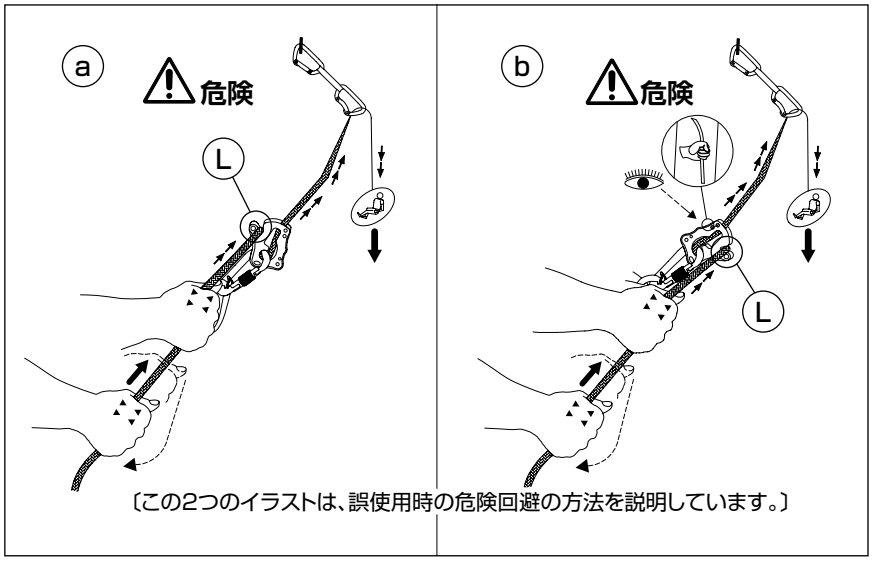
9.ⓑ　ビレイポイントからセコンドクライマーをビレイする(上方からのビレイ)　ビレイヤーは必ずセルフビレイを取り、アンカーよりビレイループが下側に位置するようにします。本製品(クリックアップ)を**図3**右のセミロック状態のイラストのようにセットします。クライマー側のロープをロッキングカラビナに滑らせるようにして送り込み、クライマーが登りロープがたるんだら、ビレイヤーは末端側のロープをたぐります。クライマーの状態は**図9**の様になります。セコンドクライマーがビレイヤーのところまで登ってきたとき、器具にセットしたロッキングカラビナがロープをセミロックした状態を**手順7(図7)**のようにして解除すればリードクライマーのビレイの準備が整います。この間、上に登ってきたクライマーは必ずセルフビレイを取ってください。

⚠ **警告**　ビレイヤーはクライマーをビレイしている間、末端側のロープをしっかりと握り続け、下方向に引くようにしてください。

⚠ **注意**　次の**10ⓐ**と**10ⓑ**の説明は、本製品を誤った方法で使用したことに気付いたとき、クライマーをローワーダウンさせる方法について記載しています。

10.ⓐ　ロープ装着が正しくない場合のローワーダウン方法(図10ⓐ)　もしロープが器具に正しくセットされなかった場合、本製品(クリックアップ)は機能せず、大変危険です。誤った使用方法にビレイ中に気が付いたとき、登高を中止し、クライマーを安全な場所に下ろすことが必要となります。この時、末端側のロープは両手で確実に握ってください。この場合、**図1-Ⓛ**のブレーキ用切り込みにロープをはめ、両手で末端側のロープを握り、クリックアップ側に少しずつ慎重にロープを渡していくようにします。少しずつロープを繰り出し、ゆっくりとクライマーを下ろします。

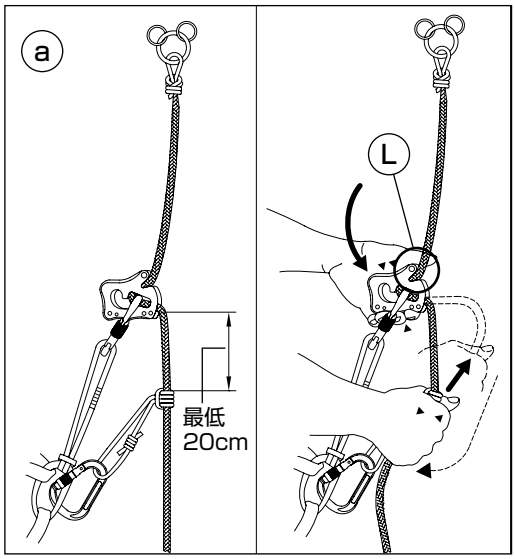
図10　装着が正しくない場合のローワーダウン方法



〔この2つのイラストは、誤使用時の危険回避の方法を説明しています。〕

10.ⓑ　器具を正しくセットしなかった場合のローワーダウン方法(図10ⓑ)　もし本製品(クリックアップ)がハーネスに正しい向きで装着されなかった場合、つまり**図1-Ⓒ**の手とロープ(ロープを握った手)のイラストがビレイヤーの正面に見えるような使い方をした場合、本製品は正しく機能せず大変危険です。誤った使用方法にビレイ中に気が付いたとき、登高を中止し、クライマーを安全な場所に下ろすことが必要となります。この場合、**図1-Ⓛ**のブレーキ用切り込みにロープをはめ、両手で末端側のロープを握り、クリックアップ側に少しずつ慎重にロープを繰り出していくようにします。少しずつロープを与え、ゆっくりとクライマーを下ろします。

図11-ⓐ　シングルロープでのラペリング



11.ⓐ　シングルロープをアンカーに固定してのラペリング(懸垂下降)＝ロープ回収不可(図11-ⓐ)　本製品を使用してラペリングを行うことは可能ですが、器具の過加熱を防止するため、長いルートを何本もラペリングすることは避けてください。ロープをアンカーに確実に固定します。スリングロープでフリクションヒッチをロープにセットし、セルフロックがかかるようにします。これをロッキングカラビナを利用してハーネスのビレイループに接続します。**図9**の要領でクリックアップをセットします。クリックアップはフリクションヒッチより上部にセットを行うため、スリングをハーネスのタイ･イン･ポイントやビレイヤループにガースヒッチ(ひばり結び)で接続し、そこにロッキングカラビナを接続してセットしてくださ

い。クリックアップ器具のロープ下最低20cmの間隔をあけてフリクションヒッチがあることを確認してください。実際にラペリングを行う前に、セットしておいたフリクションヒッチ(プルージックヒッチなど)が正しく機能し、落下が防止できるか確認してください。ラペリングを行うには、フリクションヒッチとロープを強く掴んだ手でロープのテンションを若干緩め、反対の手でクリックアップ**図1-Ⓕ**のてこ部を手のひらで下に押すようにして少しずつロープを動かしていきます。フリクションヒッチの結び目部分だけを掴むようにすればフリクションのテンションが緩み、ロープを滑らせることができます。下降時にスピードが出ないようゆっくりと下降速度を調整し、少しずつ手繰るようにしてロープを操作し、ラペリングを行ってください。

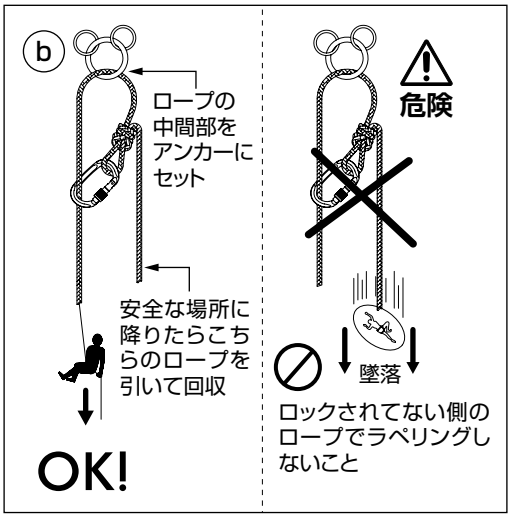
⚠ **警告** 器具の過加熱を防止するため、長いルートを何本もラペリングすることは避けてください。適宜ロープと器具の状態を確認してください。

⚠ **注意** セルフロックのフリクションヒッチが、クリックアップ本体に干渉しないよう操作してください。

⚠ **危険** ラペリングを行う際は、いわゆる「すっぽ抜け」と呼ばれる墜落事故を防ぐため、ロープ末端にはビレイ器具を通過せずそこで止まるように結び目を作ってください。結び目がないと、万が一懸垂下降時にロープが下降点まで届いていない場合に墜落の危険があります。

11.ⓑ シングルロープでロープ回収ができるセッティングでラペリングを行う(図11-ⓑ) 懸垂下降(ラペリング)をはじめるアンカーポイントでは、**図11-ⓑ**のようにアンカーにロープとロッキングカラビナをセットします。この時、ロッキングカラビナと結び目がアンカーに使用しているリング等をくぐり抜けたり、破損させたりしないように注意してください。ロックがかかった方のロープに、スリングロープでフリクションヒッチをセットし、セルフロックがかかるようにします。これはロッキングカラビナを利用してハーネスのビレイループに接続します。**図9**の要領でクリックアップをセットします。クリックアップは腰の位置より上で操作を行うため、スリングをハーネスにガースノット(ひばり結び)で接続し、そこにロッキングカラビナを接続してセットしてください。クリックアップ器具のロープ下20cmの位置にフリクションヒッチがあることを確認してください**(図11-ⓐ)**。実際にラペリングを行う前に、セットしておいたフリクションヒッチ(プルージックヒッチなど)が正しく機能しているか確認してください。

図11-ⓑ シングルロープでのラペリング



⚠ **危険** 下降に使用するのはアンカーにセットしたロッキングカラビナによりロックがかかった方のロープです。反対側のロープを使ってラペリングを行うと墜落し、死亡または重大な傷害を負います。

図11-ⓑの方法ではロックがかかった方のロープを使用することが大変重要です。ラペリングを行うには、フリクションノットとロープを強く掴んだ手でロープのテンションを若干緩め、反対の手でクリックアップ**図1-Ⓕ**のてこ部を手のひらで下に押すようにして少しずつロープを動かしていきます。フリクションノットの結び目部分だけを掴むようにすればフリクションのテンションが緩み、ロープを滑らせることができます。下降時にスピードが出ないようゆっくりと下降速度を調整し、少しずつ手繰るようにしてロープを操作し、ラペリングを行ってください。

⚠ **危険** ラペリングを行う際は、いわゆる「すっぽ抜け」と呼ばれる墜落事故を防ぐため、ロープ末端にはビレイ器具を通過せずそこで止まるように結び目を作ってください。結び目がないと、万が一懸垂下降時にロープが下降点まで届いていない場合、墜落の危険があります。

表示:本製品(クリックアップ)には以下の情報の表示が記載されています。商品名(CLICK UP)、製造社の商号(Climbing Technology)、正しいロープの向きを示す図と製造バッチ番号、使用できるロープ径、使用者は取扱説明書を読み使用方法について熟知する必要があることを示す図(本の形をしたイラスト)。これらの表示とその意味合いを使用前に確認してください。

メンテナンス:本製品に腐食やその他のダメージが見られる場合は廃棄し、新しいものに買い換えてください。汚れは使用のつどに落とし、必要に応じてきれいな真水で洗い流し、水をやわらかい布で拭き取り、よく乾燥させてください。海岸付近で使用した際には塩分を良く落とすことが必要です。ロープにダメージを与えないよう、器具の表面は常にバリ、傷、砂等の付着がないことを確認してください。本製品に改造を加えないでください。改造は本製品の本来の機能を損ないます。

保管と持ち運び:傷つき防止のため、他のものと分けて保管･運搬してください。保管の際は汚れを落とし、よく乾燥させた後、冷暗所で行ってください。高温になるところ、薬品等に触れる恐れのあるところには絶対に保管しないでください。カラビナは、カラビナにダメージを与えるような他の鋭利なもの、硬いものと一緒に保管、運搬しないでください。濡れたまま保管しないでください。塩分を含んだ空気に触れないようご注意ください。その他器具を傷めないよう運搬には細心の注意を払ってください。特に夏季の車内は高温になりますので、車の中に放置しないでください。直射日光にあたる場所には保管しないでください。

製品寿命:製品寿命は使用の頻度や使用方法、保管状況によって異なります。また、大きな衝撃を受けた場合、使用時の気候等、その他多くの要因によって変わります。適切なお手入れと保管と運搬は製品を長持ちさせます。なお、プラスチック部品は使用頻度に関係なく製造から10年程度で劣化します。製造から10年経った製品は、ダメージがなく劣化していないように見えても買い換えるようにしてください。また、クライミング技術は常に新しい理論と実技が適用されます。クライマー、ビレイヤー等、本製品の使用者は安全確保に対し常に新しい情報を入手し、正しく安全な方法でクライミングを行ってください。本製品の使用者は、使用前、使用中、使用後には必ず本製品、また本製品と一緒に使用するクライミング用品が正常に機能することを確認してください。また毎年最低1回(頻繁に使用した場合、過酷な状況下で使用した場合はさらに短い期間において)は、クライミングインストラクター等の有資格者から、本製品の使用方法が適切か、器具が正常に機能し、安全を確保できる状態にあるかのアドバイスをもらい、確認を行ってください。なにか製品に不具合が生じていると思われる場合は、本製品を廃棄し、新しいものに買い換えてください。

保証について:本製品の製造またはその素材に起因する不良については三年間の保証が有効です。お買い上げいただいた際のレシートは製品の保証書の代わりになるものですので、必ず本取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
次の場合、保証は有効ではありません:1.お買い上げ後の不適切な輸送、移動時の取り扱いが不適当なために生じた故障･損傷　2.通常使用で発生する傷、磨耗、コーティングのはげなどの外観上の変化　3.不適切な保管方法や誤った使用方法や不注意によって起因した故障･損傷　4.改造、不当な修理による故障･損傷　5.火災･地震、水害、その他天災事故による故障･損傷　6.または前述の事項に準じたその他の要因によるもの
保証期間後の修理･点検等についても本書をご提示ください。

本取扱説明書には著作権があります。ご自分の予備としてのほかはイワタニ･プリムス株式会社の許可なしに複製、公開することはできません。

クリックアップキット取扱説明書
発行日　2014年10月31日
発行者　イワタニ･プリムス株式会社
東京都中央区八丁堀4-12-20
電話03-3555-5605
CL1